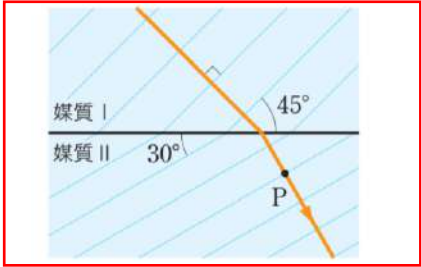
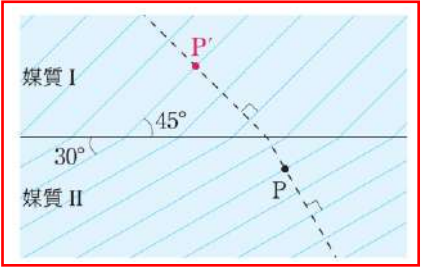



番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
1	88	23	$= \sqrt[3]{\frac{9.8 \times (24 \times 60 \times 60 \text{ s})^2}{4\pi^2 \times 6.4 \times 10^6}} = 6.6$	(削除)
2	107	33	<p>問 72 理想気体の圧力を $1.0 \times 10^5 \text{ Pa}$ で一定にし、$3.0 \times 10^2 \text{ J}$ の熱を与えて $2.0 \times 10^{-3} \text{ m}^3$ 膨張させると、<u>気体が外部にする仕事と内部エネルギーの変化量は何 J か。</u></p>	<p>たところ、<u>$1.2 \times 10^{-3} \text{ m}^3$ 膨張した。</u> <u>した</u></p>
	340	15	<p>問72 仕事：<u>$2.0 \times 10^2 \text{ J}$</u>、内部エネルギーの変化：<u>$1.0 \times 10^2 \text{ J}$</u></p>	<p><u>1.2</u> <u>18</u></p>
3	115	10-11	<p>(1) 容器を縦向きにしたとき、<u>気体の圧力 p と、ピストンまでの距離 L はいくらになるか。</u></p>	<p><u>後、気体の温度が T_0 になるまで待った。</u></p>
4	126	1	<p>◆ 強め合う条件 波源が同位相で振動するとき、図 13 の時間<u>の点</u></p>	<p><u>刻</u></p>
5	133	右段	<p>(4) 点 P にある山は、0.2 s 前にはどこにあったか。 <u>図に示せ。</u></p>	<p><u>点 P' として図に示せ。</u></p>
	21-22	[5]		
	340	(4) 図		
6	140	14	<p>る音の波長 λ' [m] は、式(12)より、$\lambda' = \frac{V - v_0}{f}$ となる。</p>	$\lambda' = \frac{V - v_s}{f}$

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
7	177	29-32	<p>電気量の単位はCを用いる。1Cは1Aの電流が1s間に運ぶ電気量の大きさとして定義される。このとき、電子と陽子1個あたりの電気量の大きさeを電気素量<small>elementary electric charge</small>といい、次のように表される。</p> $e = 1.60 \times 10^{-19} \text{ C} \quad \langle 1 \rangle$	<p>(削除)</p> <p>(削除) <u>や</u></p> <p>電気量の単位Cを用いて次のように表される²。</p> $e = 1.602176634 \times 10^{-19} \text{ C} \doteq 1.60 \times 10^{-19} \text{ C} \quad \langle 1 \rangle$ <p>なお、$A = C/s$であり、1Aは1Cを1s間で運ぶ電流の大きさである。</p>
		側注	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>電子が10^{19}個集まると、総電気量は-1.60 Cになるということです。</p>  </div>	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>² 電気素量eは、真空中の光速cと同様に、物理学の普遍定数である。したがって、式$\langle 1 \rangle$はeによって単位Cを定義していると見なす方が適切である。</p> </div>
8	243	図73	<p>↑図73 <u>オシロスコープの正負</u></p>	<p><u>誘導電流の向き</u></p>